

2019年3月期  
第2四半期

決算説明会資料

2018年11月2日

(株)フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

# 2019年3月期 第2四半期 連結決算概要

《2018/4～2018/9》

(単位:百万円)

	前 期	当 期	対前期増減		通期 業績予想 (5/10)	対通期予想 達成率	
売 上 高	311,816	<b>292,293</b>	▲19,523	▲6.3%	623,000	▲330,706	46.9%
営 業 利 益	11,669	<b>11,223</b>	▲446	▲3.8%	25,500	▲14,276	44.0%
経 常 利 益	15,634	<b>15,079</b>	▲554	▲3.5%	33,100	▲18,020	45.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,609	<b>10,118</b>	▲1,490	▲12.8%	25,000	▲14,881	40.5%

# セグメント別の売上高及び営業利益

《2018/4～2018/9》

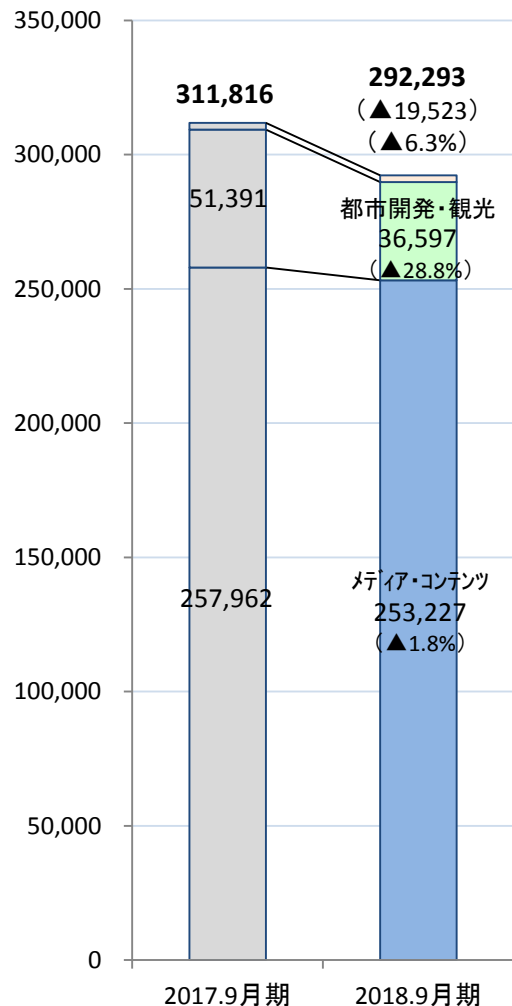
(単位:百万円)

	事業セグメント			合計	調整額	連結損益 計算上額	
	メディア・ コネ 事業	都市開発・ 観光 事業	その他 事業				
売上高	当期	253,227	36,597	9,167	298,993	▲6,699	292,293
	前期	257,962	51,391	9,355	318,708	▲6,892	311,816
	増減	▲4,734	▲14,793	▲187	▲19,715	192	▲19,523
	増減(%)	▲1.8%	▲28.8%	▲2.0%	▲6.2%	—	▲6.3%
営業利益	当期	7,263	3,665	204	11,134	88	11,223
	前期	1,373	10,387	246	12,007	▲338	11,669
	増減	5,890	▲6,721	▲42	▲873	427	▲446
	増減(%)	429.0%	▲64.7%	▲17.1%	▲7.3%	—	▲3.8%

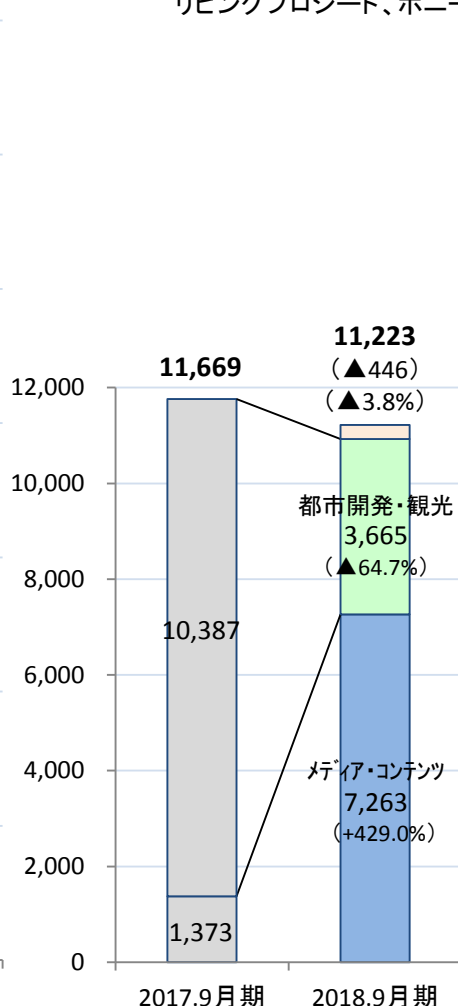
# 2019年3月期 第2四半期 連結決算概要(前期比較)

(単位:百万円)

※前期の「メディア・コンテンツ」には、前期末に連結子会社から除外されたサンケイリビング新聞社、リビングプロシード、ポニーキャニオンエンタープライズの3社等が含まれています。



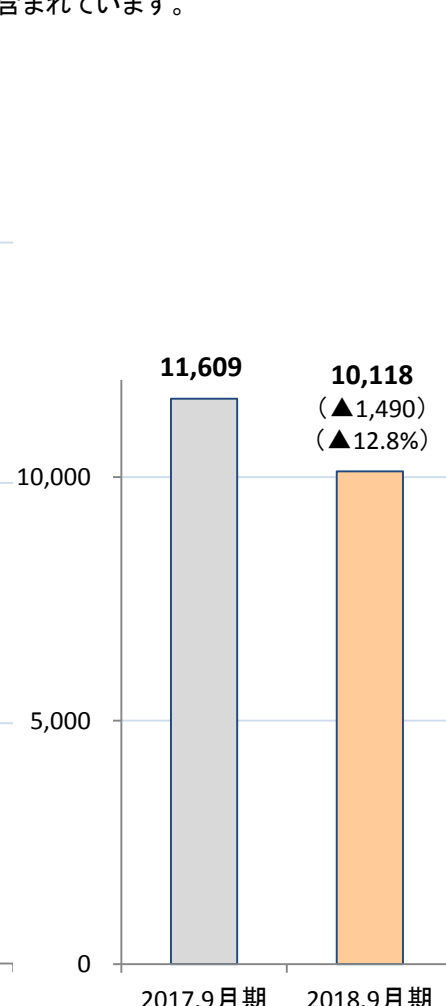
売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する  
四半期純利益

# 第2四半期決算(4月-9月)業績のポイント

## 連結営業利益112億円 減収減益

### メディア・コンテンツ

#### フジテレビ

- 映画のヒットが業績に大きく貢献 シルク・ドゥ・ソレイユの大型イベントも好調で大幅増益
- 放送収入は微減収

#### ポニーキャニオン

- ノンパッケージ分野のシェアは順調に拡大 一方、パッケージの売上が低調で減収
- 在庫に関わる廃棄損・評価損の減少等で赤字幅縮小

#### ディノス・セシール

- テレビ通販は好調に推移したが、カタログ事業の苦戦と配送費値上げの影響で減収、営業利益赤字化
- カタログ発行部数の適正化や効果的なキャンペーン施策等で、通期の利益確保を目指す

### 都市開発・観光

#### サンケイビル/グランビスタ

- サンケイビルは新規の賃貸オフィスビルや賃貸レジデンスが稼働し堅調に推移したが、前期の大型物件売却の反動で減収減益
- グランビスタは、一部ホテルの営業終了や地震の影響等により減収減益 災害による特別損失を計上

# <セグメント詳細>メディア・コンテンツ事業 会社別概要

《2018/4～2018/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
フジテレビジョン	127,213	<b>130,688</b>	3,475 (2.7%)	<b>▲836</b>	<b>4,581</b>	5,417 (-)
ビーエスフジ	8,483	<b>8,437</b>	▲45 (▲0.5%)	1,431	<b>1,307</b>	▲124 (▲8.7%)
ニッポン放送	7,048	<b>6,976</b>	▲72 (▲1.0%)	133	<b>131</b>	▲1 (▲1.4%)
フジクリエイティブ コーポレーション	7,703	<b>6,524</b>	▲1,179 (▲15.3%)	399	<b>386</b>	▲13 (▲3.3%)
共同テレビジョン	6,849	<b>7,960</b>	1,111 (16.2%)	91	<b>148</b>	56 (62.0%)
ポニーキャニオン	16,021	<b>15,953</b>	▲67 (▲0.4%)	<b>▲848</b>	<b>▲318</b>	530 (-)
ディノス・セシール	54,687	<b>51,470</b>	▲3,216 (▲5.9%)	170	<b>▲35</b>	▲205 (-)
クオラス	21,524	<b>23,602</b>	2,077 (9.7%)	200	<b>378</b>	177 (88.6%)
その他及び セグメント内修正等	8,429	<b>1,612</b>	-	630	<b>681</b>	-
合 計	257,962	<b>253,227</b>	▲4,734 (▲1.8%)	1,373	<b>7,263</b>	5,890 (429.0%)

※前期の「その他及びセグメント内修正等」には、前期末に連結子会社から除外されたサンケイリビング新聞社、リビングプロシード、ポニーキャニオンエンタープライズの3社等が含まれています。

# <セグメント詳細>都市開発・観光事業 会社別概要

《2018/4～2018/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
サンケイビル	30,201	<b>17,106</b>	▲13,095 (▲43.4%)	6,365	<b>2,272</b>	▲4,093 (▲64.3%)
グランビスタ ホテル&リゾート	15,548	<b>13,411</b>	▲2,136 (▲13.7%)	2,164	<b>1,260</b>	▲904 (▲41.8%)
その他及び セグメント内修正等	5,640	<b>6,079</b>	—	1,857	<b>133</b>	—
合計	51,391	<b>36,597</b>	▲14,793 (▲28.8%)	10,387	<b>3,665</b>	▲6,721 (▲64.7%)



# 営業外収益・費用の主な内容

《2018/4～2018/9》

(単位:百万円)

		前 期	当 期	対前期増減	
営業外収益					
	受 取 配 当 金	1,761	<b>1,721</b>	▲40	▲2.3%
	持 分 法 に よ る 投 資 利 益	1,576	<b>1,447</b>	▲128	▲8.1%
	そ の 他	1,541	<b>1,581</b>	39	2.6%
営業外収益合計		<b>4,879</b>	<b>4,750</b>	<b>▲129</b>	<b>▲2.7%</b>
営業外費用					
	支 払 利 息	628	<b>575</b>	▲53	▲8.6%
	そ の 他	285	<b>318</b>	33	11.6%
営業外費用合計		<b>914</b>	<b>893</b>	<b>▲20</b>	<b>▲2.3%</b>

# 特別利益・損失の主な内容

《2018/4～2018/9》

(単位:百万円)

		前 期	当 期	対前期増減	
特 別 利 益					
投 資 有 価 証 券	投 売 却 益	778	650	▲128	▲16.5%
	そ の 他	102	83	▲19	▲18.6%
特 別 利 益 合 計		881	734	▲147	▲16.7%
特 別 損 失					
固 定 資 産	除 却 損	101	110	9	9.3%
退 職 給 付 制 度	改 定 損	108	—	▲108	▲100%
	特 別 退 職 金	—	175	175	—
	災 害 に よ る 損 失	—	109	109	—
	そ の 他	189	114	▲75	▲39.5%
特 別 損 失 合 計		399	511	111	27.9%

# セグメント情報(連結子会社)

セグメント	会社名	会社数
メディア・コンテンツ	フジテレビジョン、ビーエスフジ、ニッポン放送、仙台放送、 フジクリエイティブコーポレーション、共同テレビジョン、ポニーキャニオン、 フジパシフィックミュージック、ディノス・セシール、クオラス、扶桑社、 フジゲームス、NEXTEP、フジアール、フジ・メディア・テクノロジー、 共同エディット、バスク、バンエイト、ベイシス、フジ・ミュージックパートナーズ、 エグジットチューンズ、シンコーミュージック・パブリッシャーズ、 ディノス・セシールコミュニケーションズ、FUJI MUSIC GROUP、ARC MUSIC、 ARC/CONRAD MUSIC	26社
都市開発・観光	サンケイビル、グランビスタホールディングス、グランビスタホテル&リゾート、 サンケイビルマネジメント、サンケイビルテクノ、サンケイビルウェルケア、 サンケイ会館、甲子園開発、SKB USA、SKB Seattle	10社
その他	フジミック、ニッポン放送プロジェクト、フジキャリアデザイン、 FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL	4社
合計		40社

# フジテレビの業績

# 2019年3月期 第2四半期 フジテレビ決算概要

《2018/4～2018/9》

(単位:百万円)

	前期	当期	対前期増減	
売上高	127,213	<b>130,688</b>	3,475	2.7%
営業利益	▲ 836	<b>4,581</b>	5,417	—
経常利益	▲ 612	<b>4,722</b>	5,335	—
四半期純利益	▲ 522	<b>3,198</b>	3,721	—

# 放送事業 収入と原価

《2018/4～2018/9》

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
放送事業収入	107,605	▲345	▲0.3%
放送収入	91,454	▲429	▲0.5%
ネットタイム	40,878	2,031	5.2%
ローカルタイム	6,606	▲42	▲0.6%
スポット	43,969	▲2,418	▲5.2%
その他 放送事業収入	16,150	84	0.5%
番組販売	8,260	▲495	▲5.7%
CS放送・その他	7,890	579	7.9%
放送事業原価	74,407	▲2,813	▲3.6%

# スポット収入 業種別動向

2018年7月～9月

※管理ベース

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
情報・通信・放送	14.5%	14.4%	▲3.1%
化粧品・トイレタリー	15.2%	12.4%	▲20.2%
食品	7.7%	8.3%	4.6%
自動車・関連品	7.4%	7.5%	▲2.2%
外食・各種サービス	5.6%	7.1%	22.9%
出版・エンタテインメント	6.6%	6.8%	▲0.1%
金融・保険	4.9%	6.4%	28.4%
医薬品・医療用品	6.7%	6.4%	▲6.9%
非アルコール飲料	8.5%	6.0%	▲31.2%

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
衣料・身回品・雑貨	4.6%	4.2%	▲11.6%
交通・レジャー・観光	2.4%	4.0%	65.4%
流通・小売業	3.1%	3.4%	6.1%
不動産・住宅設備	2.7%	2.8%	3.5%
事務・精密・光学機器	3.4%	2.4%	▲30.4%
アルコール飲料	3.0%	2.3%	▲23.4%
電話サービス	1.8%	2.1%	14.5%
家電・AV機器	0.9%	1.0%	2.1%
エネルギー・機械	0.4%	0.8%	84.3%
その他	0.7%	1.7%	145.7%

# 番組制作費

(単位:百万円)

	前期	当期	増減
第1四半期	20,495	19,283	▲5.9%
第2四半期	20,305	19,259	▲5.2%
上期	40,801	38,543	▲5.5%
第3四半期	19,960		
第4四半期	19,922		
下期	39,882		
通期	80,684		

※自社制作番組及び購入番組の直接費



# その他事業 収入と原価

《2018/4～2018/9》

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
その他事業収入	23,082	3,821	19.8%
催物事業収入	8,458	3,114	58.3%
映画事業収入	5,124	647	14.5%
デジタル事業収入	4,029	▲83	▲2.0%
MD事業収入	2,938	756	34.7%
ビデオ事業収入	816	▲186	▲18.6%
その他の収入	1,715	▲428	▲20.0%
その他事業原価	17,879	2,099	13.3%

# 販管費及び営業外損益概要

《2018/4～2018/9》

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
販売費及び 一般管理費	33,818	▲1,228	▲3.5%
販売費	23,870	▲723	▲2.9%
一般管理費	9,948	▲504	▲4.8%
<b>営業費用合計</b>	<b>126,106</b>	<b>▲1,942</b>	<b>▲1.5%</b>
<b>営業利益</b>	<b>4,581</b>	<b>5,417</b>	<b>—</b>
営業外収益	309	▲36	▲10.5%
営業外費用	168	45	37.2%
<b>経常利益</b>	<b>4,722</b>	<b>5,335</b>	<b>—</b>

**2019年3月期  
業績予想  
(修正なし)**

# 2019年3月期通期 連結業績予想(修正なし)

《2018/4～2019/3》

(単位:百万円)

	前 期	当 期 予 想	対前期増減	
売 上 高	646,536	623,000	▲23,536	▲3.6%
営 業 利 益	25,258	25,500	241	1.0%
経 常 利 益	35,120	33,100	▲2,020	▲5.8%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	24,956	25,000	43	0.2%

## 地上波テレビ広告収入の通期見込み 《2018/4～2019/3》

ネットタイム	ローカルタイム	スポット	放送収入合計
▲1.7%	▲6.4%	▲4.1%	▲3.2%

(前期比)

# 2019年3月期通期 セグメント別業績予想(修正なし)

《2018/4～2019/3》

(単位:百万円)

	事業セグメント				合計	調整額	連結損益 計算上額
	メディア・ コンテンツ 事業	都市開発・ 観光 事業	そ の 他 業				
売上高	2019.3月期 通期予想	514,000	101,600	19,500	635,100	▲12,100	623,000
	2018.3月期 通期	532,224	108,939	20,105	661,269	▲14,732	646,536
	増減(%)	▲3.4%	▲6.7%	▲3.0%	▲4.0%	—	▲3.6%
営業利益	2019.3月期 通期予想	14,100	11,500	400	26,000	▲500	25,500
	2018.3月期 通期	11,839	14,171	662	26,673	▲1,415	25,258
	増減(%)	19.1%	▲18.9%	▲39.6%	▲2.5%	—	1.0%

# 設備投資計画と減価償却費

(単位:百万円)

		2019年3月期		2020年3月期 通期 (計画)
		上期 (実績)	通期 (計画)	
設備投資額	連結	47,193	58,100	37,900
	フジテレビ	4,692	7,500	7,500
	都市開発・観光事業	27,035	32,100	23,300
	フジ・メディアHD	14,208	14,900※	800
減価償却費	連結	8,774	18,900	20,500
	フジテレビ	3,557	8,000	8,700
	都市開発・観光事業	2,552	5,500	6,200
	フジ・メディアHD	933	2,000	2,000

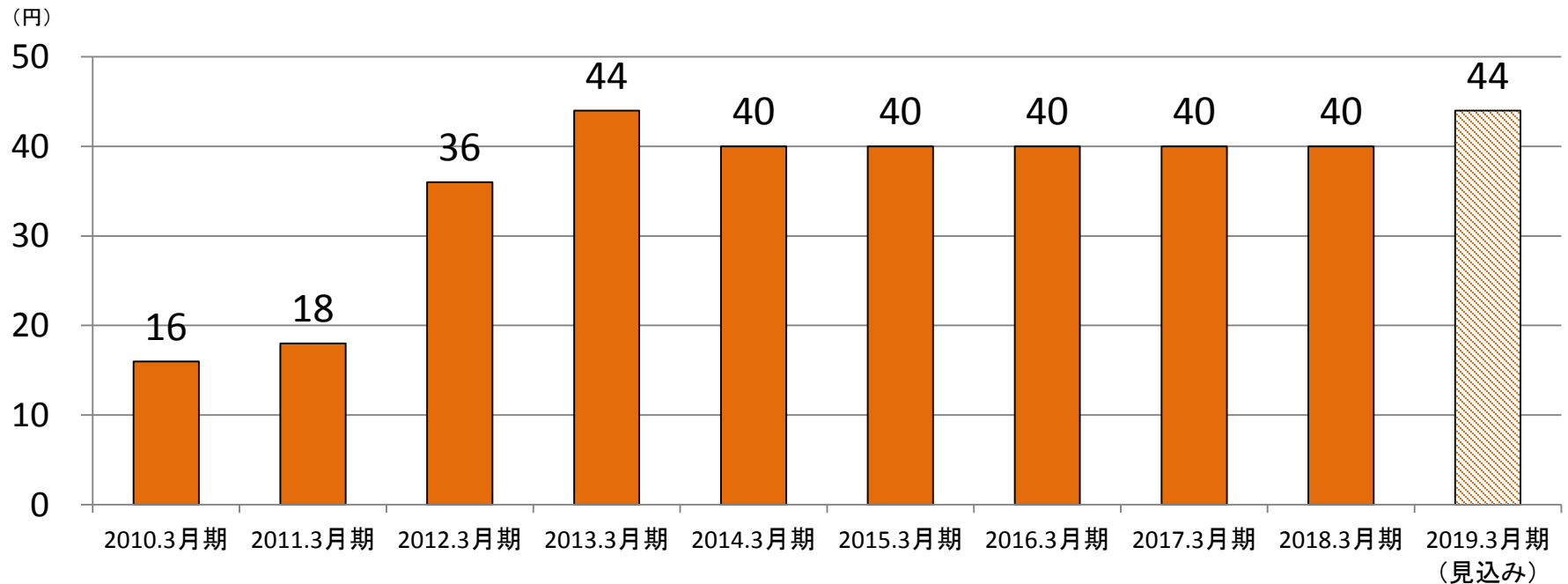
※本社ビル土地(底地)の購入が含まれております。

# 株主への利益還元

目標配当性向40%を基本に配当の安定性等を考慮

2019年3月期 年間配当44円（変更なし）

2019年3月期の中間配当及び期末配当には、普通配当20円以外に  
認定放送持株会社移行10周年及び(株)フジテレビジョン開局60周年記念配当2円が含まれております。



※単元株制度の導入に伴い、2013年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で  
株式分割を行いました。過去の配当実績は分割後の株式数で算定した値を記載しています。

# 参考



## ■ 催物事業 ■

### ● 日本美術展史上最大 「フェルメール展」が開幕

2018/10/5～2019/2/3 上野の森美術館



「牛乳を注ぐ女」

日本初公開3点を含む9点の  
フェルメール作品が東京に



「取り持ち女」

2019/1/9～2/3までの期間限定展示

### ● シルク・ドウ・ソレイユ 「キュリオス」日本公演

上期は東京・大阪公演  
好調に推移

名古屋、福岡、仙台を巡演  
(～2019/5/29)



## ■ 映画事業 ■

### ● 上期は「劇場版コード・ブルー」、 「万引き家族」が大ヒット

「劇場版コード・ブルー  
-ドクターヘリ緊急救命-」  
興行収入92億円突破



「万引き家族」  
興行収入45億円突破

### ● 下期も期待作を多数ラインナップ

11月16日	人魚の眠る家
12月14日	ドラゴンボール超 ブロリー
1月18日	マスカレード・ホテル
2月22日	翔んで埼玉

- 新作アプリゲーム第2弾「プレカトゥスの天秤」

## 事前登録者数140万人突破

単行本7冊を超えるシナリオボリュームに、  
100体を超えるキャラクターが登場する  
「本格マルチシナリオRPG」

テレビ局発のゲーム会社としての強みを活かし、  
多彩なプロモーション施策を実施中



- 大人気アニメ「FAIRY TAIL」の新作アプリゲーム

## 「FAIRY TAIL DiceMagic」今冬リリース予定

「すごろく」をベースにしたアクションRPG  
「FAIRY TAIL」の広大で魅力溢れる世界を  
すごろくマップで再現した新しいジャンルのゲーム



## ビル事業

- 首都圏主要エリアを中心に、高機能オフィスビル「S-GATE」シリーズを展開  
大阪や広島など、新たに西日本エリアの開発も強化  
安定した賃貸収入でポートフォリオを一層拡充し、収益基盤の拡大を図る



「S-GATE 日本橋本町」  
2018年10月竣工

## 住宅事業

- 分譲マンションと賃貸レジデンスをバランスよく開発  
市況に左右されない安定的な事業の定着を図る



「ホテルインターゲート広島」  
2019年1月15日開業



「ホテルインターゲート金沢」  
2019年3月16日開業

## ホテルリゾート事業

- サンケイビルとグランビスタが共同開発した新ホテルブランド「INTERGATE HOTELS」の第3号、第4号ホテルがまもなくオープン
- 伝統的な京町家を宿泊施設として再生する取り組みをスタート（京都市内に2棟オープン）



「京都二条 さわら木の宿」  
1日1組限定の一棟貸し宿泊施設

- P. 24 : ヨハネス・フェルメール 《牛乳を注ぐ女》 1658年-1660年頃 アムステルダム国立美術館  
Rijksmuseum. Purchased with the support of the Vereniging Rembrandt, 1908 RIJKS MUSEUM
- P. 24 : ヨハネス・フェルメール 《取り持ち女》 1656年 ドレスデン国立古典絵画館 Gemäldegalerie Alte Meister, Dresden  
bpk / Staatliche Kunstsammlungen Dresden / Herbert Boswank / distributed by AMF
- P. 24 : Photos: Martin Girard, Pierre Manning, Ryuichi Oshimoto / shootstudio.ca © 2014 Cirque du Soleil
- P. 24 : © 2018 フジテレビジョン ジェイ・ストーム レプロエンタテインメント 東宝 FNS27社
- P. 24 : © 2018 フジテレビジョン ギャガ AOI Pro.
- P. 25 : © Fuji Games, Inc.
- P. 25 : © 真島ヒロ・講談社／フェアリーテイル製作委員会・テレビ東京